

Full Speed

月刊SEOレポート 2016年5月版

Monthly [SEO](#) Report

Vol.73

本書の特集でGoogleの「This year's Founders' Letter」（今年の創業者からの手紙）を紹介しました。

ユーザーニーズに応えるために、Googleは機械学習と人工知能（AI）を採用、そして機械学習やAIでサポートされたサービスをさらに強化していくとしています。

方針もさることながら、本年度の方針に触れたことで、そもそも"Googleの理念"って何だったかなと、改めて「Google が掲げる 10 の事実」を読み返してみました。知っている方も多いと思いますが紹介します。

01. ユーザーに焦点を絞れば、他のものはみな後からついてくる。
02. 1 つのことをとことん極めてうまくやるのが一番。
03. 遅いより速いほうがいい。
04. ウェブ上の民主主義は機能します。
05. 情報を探したくなるのはパソコンの前にいるときだけではない。
06. 悪事を働かなくてもお金は稼げる。
07. 世の中にはまだまだ情報があふれている。
08. 情報のニーズはすべての国境を越える。
09. スーツがなくても真剣に仕事はできる。
10. 「すばらしい」では足りない。

この言葉のなかには多くのヒントが隠されています。例えば、コンテンツの品質であれば01・07・08、内部対策であれば03・05といった具合です。

施策で迷った時、あるいはGoogleの本質を理解したいときなどに読み返していただければ、パッと視界が広がるかもしれません。参考にいただければと思います。

コンサルティング部
WEB/SEOコンサルタント 深井



04 検索エンジン最新トピック

10 全体的な順位変動の状況

12 Growth Seed VOICE

SEO Report

検索エンジン
最新トピック
Section 01

検索エンジン最新ニュース

検索マーケティングに関わるお役立ち情報をご紹介します。

Google

日付	タイトル	概要	詳細
4/04	検索品質評価ガイドラインを更新	2015年11月にGoogleが正式公開した検索品質評価ガイドラインを、3月28日に更新したことを米国Search Engine Landが発表。	-
	http://searchengineland.com/google-updates-search-quality-rating-guidelines-246525		
4/06	ローカル検索で上位表示する方法を公開	Googleマイビジネスヘルプページの、「ローカル検索結果の掲載順位改善」項目を更新。	P06
	https://support.google.com/business/answer/7091?hl=ja		
4/10	【米国】不自然な発リンクサイトに対して警告を送信	ガイドライン違反をしている発リンクサイトに対して手動対応を実行したことが判明。	-
	-		
4/22	ペンギンアップデート4.0で終了	手動による不定期更新であるペンギンアップデートが、次のアップデート4.0からリアルタイムアルゴリズムに組み込まれることを公式発表。	P07
	https://www.seroundtable.com/google-last-penguin-update-21975.html		
4/29	Google翻訳10周年	Google翻訳10歳を記念して、Google翻訳にまつわる10のトピックスを紹介。	P08
	http://googlejapan.blogspot.jp/2016/04/google-10.html		

Yahoo! JAPAN

日付	タイトル	概要	詳細
4/05	常時SSL(AOSSL)に対応	2016年4月から2017年3月にかけて、Yahoo! JAPAN トップページやYahoo!ニュースを含むすべてのサービスにおいて常時SSL (AOSSL) に対応することを発表。	-
	http://docs.yahoo.co.jp/info/aossil/		
4/05	「Insight for D」を公開	デジタルマーケティングに役立つ情報発信サイト「Insight for D (インサイト フォー ディー)」を公開。	-
	http://marketing.yahoo.co.jp/release/201604051400.html		
4/19	電子マネー「Yahoo!マネー」を初夏から提供開始	25行の銀行に対応した「預金払い」と電子マネー「Yahoo!マネー」を初夏から提供。来春にはリアル決済にも参入予定であることを発表。	-
	http://pr.yahoo.co.jp/release/2016/04/19a/		

「ローカル検索で上位表示する方法を公開」

今月のトピックス01

Googleマイビジネスヘルプページの、“ローカル検索結果の掲載順位改善”項目が更新されました。

「SEO の手法もローカル検索結果の最適化に適用できます。」とSEOについて言及している点も見逃せません。

Google マイビジネス情報の改善

Google マイビジネスの管理画面を最新情報にすることを推奨しており、改善することでローカル検索結果の上位表示に役立ちます。具体的な施策として5項目を紹介しています。

- ✓ 詳細なデータを入力
- ✓ ビジネスのオーナー確認
- ✓ 営業時間の情報を正確に保つ
- ✓ クチコミの管理と返信
- ✓ 写真を追加

ローカル検索結果の掲載順位が決定される仕組み

ローカル検索結果の上位表示には以下の3つの要因が重要と説明しています。

01. 関連性

(検索語句とローカル リスティングが合致する度合いを指します。)

02. 距離

(検索語句で指定された場所から検索結果のビジネス所在地までの距離を指します。)

03. 知名度

(ビジネスがどれだけ広く知られているかを指します。ビジネスによっては、オフラインでの知名度の方が高いことがあります。検索結果にはこうした情報が加味されます。)

その他

ウェブ上の情報(リンク、記事、店舗一覧など)も知名度に影響します。

Googleでのクチコミ数とスコアも、ローカル検索結果の掲載順位に影響します。

「ペンギンアップデート4.0で終了」

今月のトピックス02

2014年10月を最後に更新されていないペンギン・アップデートについてGoogleのGray Illyes氏が言及。
手動による不定期更新であるペンギンアップデートが、次回のアップデート4.0からリアルタイムアルゴリズムに組み込まれることをTwitterで公式発表。

4.0の更新はいつ？

前回の手動更新が2014年10月だったことから、約1年半更新がされていません。
2015年10月に開催されたSMX Eastで、GoogleのGary Illyes氏が早ければ数週間、遅くとも年内には更新をすると発表していましたが、更新されないペンギン・アップデート4.0。
正式なアナウンスがないことから、いまだに更新時期は未定です。

4.0以降のペンギン・アップデート

次回のペンギンアップデート4.0で、ペンギンアップデートが終了すると米国のSearch Engine Roundtableからアナウンスがありました。

参照元：<https://www.seroundtable.com/google-last-penguin-update-21975.html>

終了といっても完全になくなるわけではなく、手動対応からリアルタイムアルゴリズムに組み込まれることとなります。

以前からリアルタイム更新にしたいとGoogleのJohn Mueller氏もたびたび言及していたことから、ようやく実現します。



 **Gary Illyes**
@methode

[フォロー](#)

@RyanJones it's likely there won't be "next one" @bhartzer

3 リツイート 4 いいね

11:59 - 2016年4月21日

「 Google翻訳10周年 」

今月のトピックス03

Google翻訳は、言語の壁を取り払い、世界中の人たちがお互いをもう少しだけ身近に感じられるようになることを夢見て、10年前に登場。当初、3言語から始まった対応言語は103言語に拡大。今回、Google翻訳10歳を記念して、Google翻訳にまつわる10のトピックスが紹介されました。

1. 言語の壁を超えて、世界中の人々がつながるお手伝いをしています
2. Google 翻訳は、500 万人以上のユーザーに利用されています
(英語、スペイン語、アラビア語、ロシア語、ポルトガル語、インドネシア語がよく使われています)
3. 毎日 1,000 億以上の単語が翻訳されています
4. 翻訳にも、現実世界のうごきが反映されています
5. 皆さんのフィードバックが、Google 翻訳をもっと良くする力になります
6. Google 翻訳は、ブラジルで最も多く利用されています。
(翻訳の 92%は米国以外の国や地域で利用されており、その中で最も利用が多いのはブラジルです)
7. かざすだけ (リアルタイムカメラ翻訳) で 28 言語を翻訳できる (※ 日本語未対応)
8. 32 カ国語で会話 (会話を翻訳する機能) することができます
9. インターネット接続がなくても (リアルタイムカメラ翻訳) お使いいただけます
10. 翻訳に終わりはありません

イベント情報

Webマーケティングに関わるイベントやセミナーなどお役立ち情報をご紹介します。



Web&デジタル
マーケティング
EXPO 春

WEB全般

第10回 Web & デジタル マーケティング EXPO 春

2016年5月11日（水）～ 13日（金） 10：00～18：00

東京ビッグサイト

<http://www.web-mo.jp/>


eCommerce
expo
Osaka

イーコマース

第6回 イーコマースEXPO 2016 大阪

2016年5月25日（水）～ 26日（木） 10：00～17：30

マイドームおおさか3F

<http://www.ecommerceexpo-osaka.com/>


UXSF
UX Strategy Forum 2016 Spring

UX

NEW

シオメディア UX戦略フォーラム 2016 Spring

2016年5月27日（金） 10：00～20：30

ステーションコンファレンス池袋

<https://www.sociomedia.co.jp/uxsf>

SEO

NEW

The 18th In-house SEO Meetup

2016年6月17日（金） 19：00～22：30

場所未定

<https://www.facebook.com/events/1518074415177256/>


コンテンツ 東京
CONTENT TOKYO
2016

コンテンツ

NEW

第2回コンテンツ東京2016

2016年6月29日（水）～ 7月1日（金） 10：00～18：00

東京ビッグサイト

<http://www.content-tokyo.jp/>

SEO Report

全体的な
順位変動の状況
Section 02

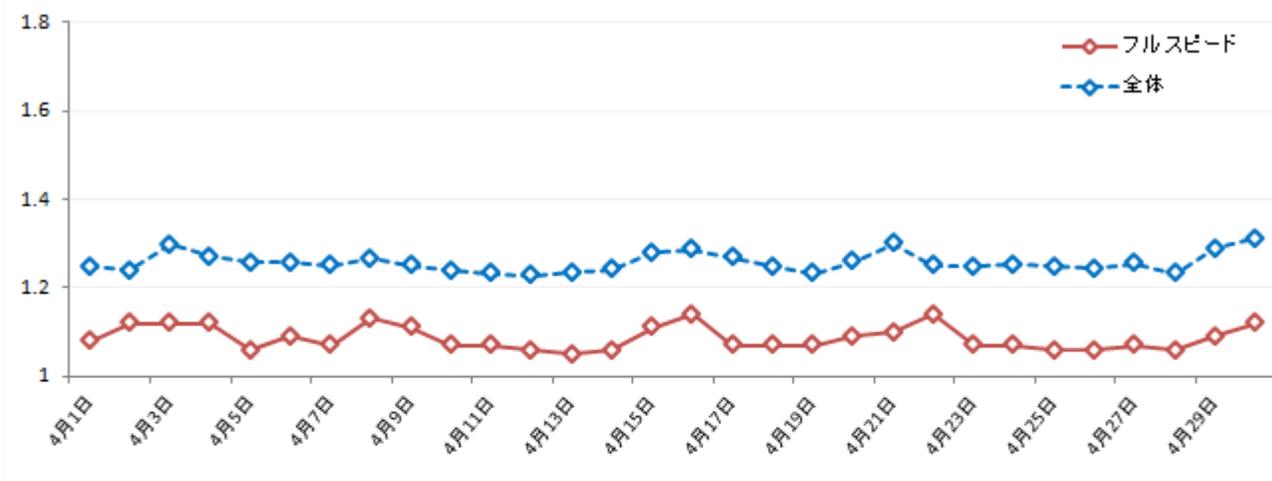
順位変動状況サマリー

2016年4月の順位変動に関するサマリーコメント

4月は、小規模変動の基準としている 1.2 を超える計測は観測しておらず、順位は比較的安定した月でした。

米国では、1日、14日、28日に大きな変動を観測（MOZ CASTより）していますが、日本では観測されていないことから米国独自の変動になります。

Googleの順位変動率の推移（2016/4/1～2016/4/30）



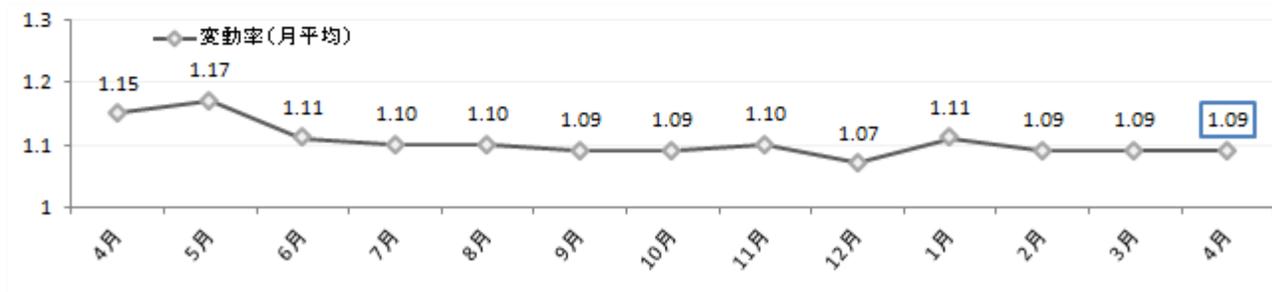
グラフの項目

全体

弊社で観測している様々なキーワードも含む市場全体の順位変動傾向

フルスピード

弊社で対策を実施しているキーワードの順位変動傾向



※変動率に使用したデータ：

上位表示される難易度に応じ、フルスピードが独自に選定しモニタリングしているビックキーワード・ミドルキーワード・スモール/複合キーワードの数千キーワードのデータを使用、独自の計算に基づき算出しています。

Googleの公式発表ではありませんのでご注意ください。

SEO Report

Growth Seed VOICE
Section 03

Growth Seed _ 最新記事紹介

当社のSEOコンサルタントやその道の専門家が発信する知識、現場で使える無料レポートの公開、毎日の順位変動状況など情報を出し惜しみすることなく、ユーザーの方に満足していただけるような専門情報をお届けしています。

サイト成長の種を贈るフルスピードSEOブログ
<http://growthseed.jp/>



5月のアップ予告



「SEOのためのコンテンツの限界」

Webサイトのコンテンツは、「どれだけ人を集めたか」だけでなく、コンテンツ同士を一つのストーリーに基づいてリンクして、企業への関心を高めていく工夫が大切です。

どんな工夫をすれば、検索で自社を見つけくれたユーザーに対して、「自社に対する関心」を高めていくことができるのか。方法論を紹介する記事です。

NO IMAGE

「Googleアナリティクスのユーザーフローでコンテンツを改善！」

PC、スマホ、新規、リピータなどのユーザー属性ごとにページ遷移を確認して、コンテンツの改善策のヒントを得る方法を説明する記事です。

特集 _ Yahoo! JAPAN 1996年当時のトップページを再現

4月26日、1996年4月1日に公開したポータルサイト「Yahoo! JAPAN」のTOPページを、20周年を迎えた記念として可能な限り再現して公開されました。

<http://dir.yahoo.co.jp/classic>



[1996年の主な出来事](#)



[90's COOL SITES](#)

[米国 Yahoo!へ](#)

検索

[オプション](#)

- [アート](#)
[人文](#) [写真](#) [建築](#) [博物館と画廊](#)
- [ビジネスと経済](#)
[企業](#) [団体](#) [製品とサービス](#) [求む](#)
- [コンピュータとインターネット](#)
[インターネット](#) [ソフトウェア](#) [マルチメディア](#)
- [教育](#)
[大学](#) [小中学校](#) [講座](#)
- [エンターテインメント](#)
[テレビ](#) [映画](#) [音楽](#) [雑誌](#)
- [政府](#)
[政治](#) [政府機関](#) [研究機関](#)
- [健康](#)
[医学](#) [病気](#) [ヘルスケア](#) [栄養](#)
- [ニュース](#)
[ワールド・ニュース](#) [新聞](#) [時事](#)
- [レクリエーション](#)
[スポーツ](#) [ゲーム](#) [旅行](#) [自動車](#)
- [リファレンス](#)
[図書館](#) [辞書](#)
- [地域情報](#)
[日本](#) [世界の国々](#)
- [自然科学](#)
[コンピュータ](#) [生物学](#) [天文学](#) [工学](#)
- [社会科学](#)
[経済学](#) [社会学](#) [考古学](#)
- [社会と文化](#)
[環境](#) [宗教](#)

現在のような多くのサービスはなく、トップページ上に表示されている主なコンテンツは「キーワード検索」と「ディレクトリ検索（現在のYahoo!カテゴリ）」でした。これらは、“サーファー”の手によって整理された「カテゴリ」に登録されたサイトを検索する機能です。

公開から1カ月間のページビュー（以下PV）は約32万PVでしたが、現在はスマートフォンやPC向けに100以上のサービスを提供、月間631億PVを超えています。

特集 _ Google「今年の創業者からの手紙」を公開

4月28日に「This year's Founders' Letter」（今年の創業者からの手紙）を Official Google Blogで公開しました。

創業者からの手紙は2004年から毎年公開しているレポートで、Googleの取り組みや方針について説明しているものです。

これまでは、共同創業者のラリー・ページ氏（現AlphabetのCEO）とサーゲイ・ブリン氏（現Alphabetの社長）の署名で公開してきましたが、今回はAlphabetのCEOに就任したスティーブ・ピチャイ氏が本文を書いています。

“モバイルファースト”から“AIファースト”の世界へシフトしていく

もっとも興味をひかれたのが以下の文章です。

Looking to the future, the next big step will be for the very concept of the “device” to fade away. Over time, the computer itself—whatever its form factor—will be an intelligent assistant helping you through your day.

We will move from mobile first to an AI first world.

将来に目を向ければ、次の大きなステップはデバイスという概念が消えていくということだろう。時間が経つにつれて、コンピュータ自身は（それがどのような形態だろうと）日々私たちを支援するインテリジェントアシスタントになっていく。

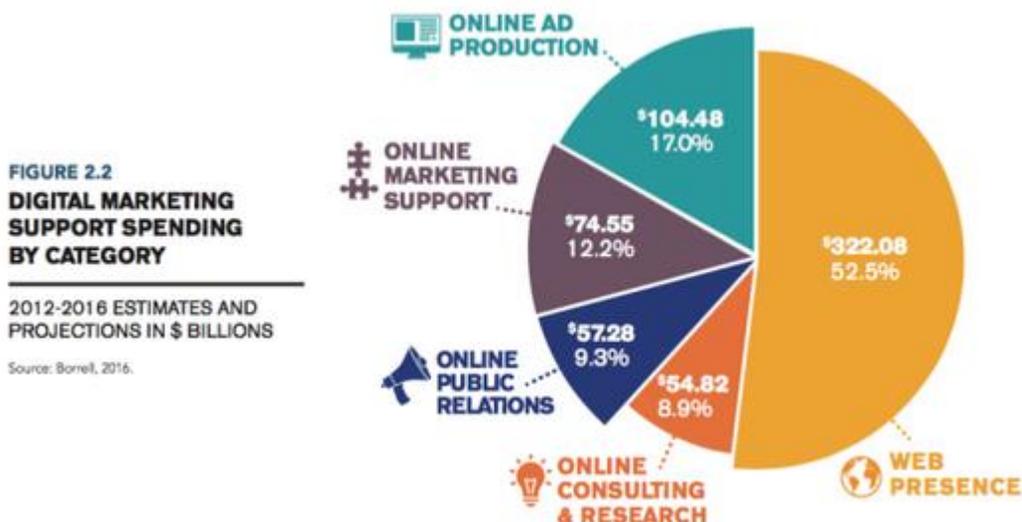
われわれは“モバイルファースト”から“AIファースト”の世界へシフトしていく。

PCからモバイル中心になり、さらに腕時計や自動車、バーチャルリアリティなどへ広がり続け、ユーザーの要求は益々高まっています。これに応えるために、Googleは機械学習と人工知能（AI）を採用、そして機械学習やAIでサポートされたサービスをさらに強化していくとしています。

参照元：「Official Google Blog」
<https://googleblog.blogspot.jp/2016/04/this-years-founders-letter.html>

特集 _ 米国のSEO関連の支出は2020年には80億ドルに到達！？

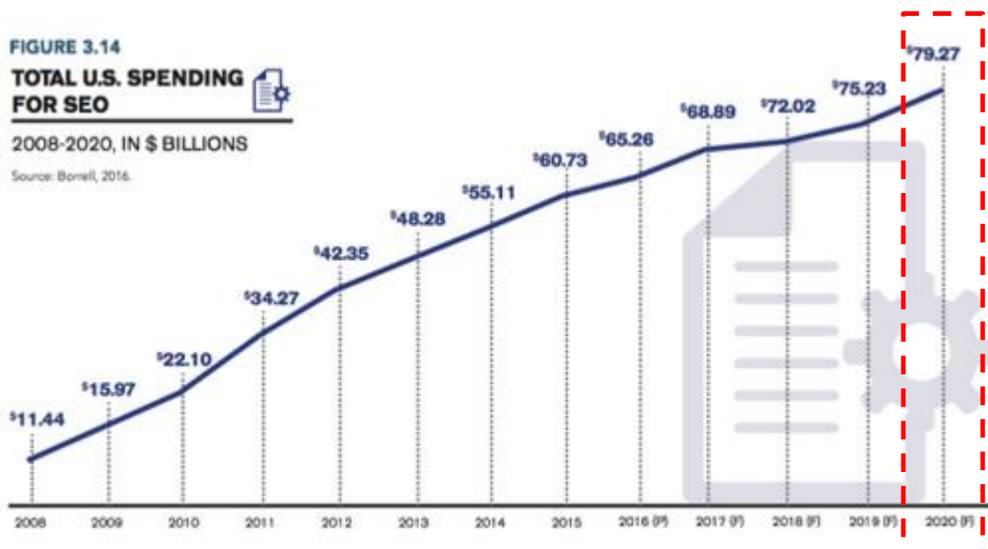
米国のSEOに関わる広告費が2020年に約80億ドルになることを米国のSearch Engine Landが公開しました。（調査会社は米国Borrell Associates）



レポートは主に中小企業の支出に焦点を当てています。

Borrell Associatesは「オンラインマーケティング支援」の87.5パーセントは、SEO関連の支出であると判断しています。

そして、2016年の支出は65億ドル予測、**2020年には80億ドルに成長すると予測**しています。



参照元：「Search Engine Land」
<http://searchengineland.com/forecast-says-seo-related-spending-will-worth-80-billion-2020-247712>

月刊SEOレポート 2016年5月版

- Monthly SEO Report vol.73 -

発行 2016年5月2日

発行者 コンサルティング部

発行所 株式会社フルスピード (<http://www.fullspeed.co.jp/>)

東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー8F

03-5457-7727

1. 当社が独自に調査した結果をまとめた2016年4月末の情報です。
2. 全体傾向をまとめたレポートとなりますので、お客様サイトの状況と合致していない内容も含まれていることをご理解ください。
3. 無断複製・無断配付・無断公開は禁止しております。



Full Speed

Ad Technology & Marketing Company

Full Speed

“ココロ ∞ テクノロジー”